

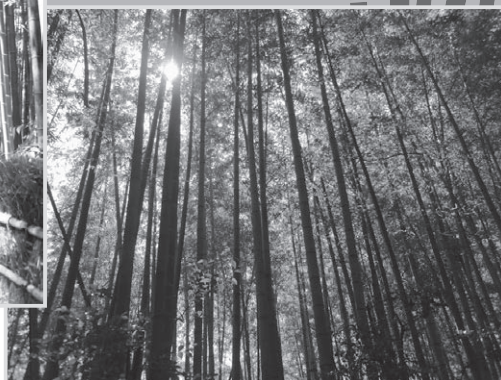
竹の径

竹^{みち}の径^{もこう}。良質な筍の産地として全国的に知られる向日市西ノ丘丘陵にある、全長1,800メートルに及ぶ竹林道である。平成12年から整備を始め、17年に完成。地元の竹職人による6種類の竹垣と静かな竹林に囲まれた散策道として、広く親しまれている。



▲喧騒を離れて、ひっそりと静かに佇む竹林。聞こえるのは葉の音と鳥の声だけ

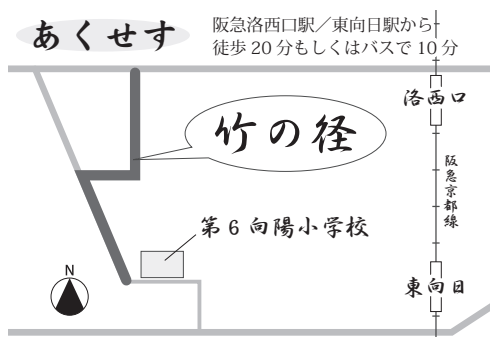
▼鬱蒼と茂る竹の間から漏れる日の光。コントラストが美しい



▼竹の枝を束ねて作られた、竹穂垣。材料となる竹も、全てこの一帯の竹林から採れたものである



▲途中にある、寺戸大塚古墳と古墳垣。竹垣には他に「寺戸垣」「物集女垣」「かぐや垣」などがある



かぐやの夕べ

毎年10月中旬には、水ろうそくを浮かべた4,000本の竹行灯により、夕闇の竹の径が幻想的に彩られる、「かぐやの夕べ」が開催される。第6向陽小学校付近では、和楽器などの演奏会やおもてなし処が設けられ、毎年多くの人々が訪れる。

今年は10月17日（土）に開催予定。

※雨天時は18日（日）に延期。